

## 第11回阿波おどり実行委員会議事録

開催日時 平成31年2月1日（金）午後3時～

開催場所 徳島市中央公民館3階 302会議室

出席者 委員7名（内代理1名、欠席1名） 事務局9名

### 1 開会

### 2 代理出席者及び欠席者紹介

### 3 市長挨拶

### 4 議題（1）平成30年度阿波おどり事業の決算処理について

#### 【事務局】

資料1 平成30年度阿波おどり事業決算見込みについて説明。

#### 【委員長】

今年度の阿波おどり事業の赤字処理方法について、前回の会議で徳島市の基金で処理するという意見が多かったが、何か意見はないか。

（意見等なし）

今年度の阿波おどり事業の赤字については、徳島市の阿波おどり振興基金を活用することで議会に提案していくこととする。

### 5 議題（2）阿波おどり振興協会との協議状況

#### 【事務局】

資料2 阿波おどり振興協会との協議状況について説明。

#### 【A委員】

阿波おどり振興協会（以下、「振興協会」と言う。）からの要望で、南内町演舞場で協力していた職員を全て充てられるかわからないが、やはり4演舞場で総おどりをすることを確認しておいた方がいい。市役所前演舞場と南内町演舞場という案については賛成できかねる。

#### 【委員長】

実行委員会としては、引き続き4演舞場で踊っていただくようお願いをしていく。議題3に関係するが、参加費のことも踏まえて、引き続き事務局で振興協会と協議をしていきたいと考えている。

6 議題(3) 阿波おどり事業検証有識者会議の検証結果について

【事務局】

資料3 阿波おどり事業検証結果についての提言書・概要・別紙について説明

【委員長】

議題(3)では民間委託による阿波おどりの実施と行政の関わりという大きな課題が2点ある。来年度の阿波おどりを開催するにあたり、運営体制そのものに関する提言内容となっているため、このことについて議論した方が良い。

【A委員】

提言書の中にもあるように、収支の責任を明確にするためには、来年度からでも民間委託を導入した方が良いのではないかと。それと委員長の問題だが、大きな祭りでもあり、全く市が関わらないわけにもいかないから、市長が委員長を辞めたとしても委員としては、いた方が良いのではないかと。

【委員長】

まずは民間委託について話を絞りたいと思う。A委員から民間委託は今年度からでもという意見があったが、時期なども含めて意見はないかと。

【B委員】

民間委託そのものは賛成であるが、市がどう関わっていくかをもう少し明確にしていく必要がある。例えば有料部分だけなのか、市はどのような面で補助金を出すのか、純粋な観光客に対する部分を、どこまで市が関わっていくのかなど。興行関係に関してはもう民間委託は基本的にいいと思う。ただ、その棲み分けも含めて明確にしていかなければ、今年から民間委託だというのは少し拙速な気がするから、十分に議論を重ねた上で最終的にはやるべきであると思う。

【C委員】

有識者会議で、どのような民間団体に関わっていただくかの考えはあるのか。

【事務局】

市の関わりについて有識者会議では、シャトルバスや無料演舞場は公益性が高いので、引き続き実施するという話があった。民間委託に関しては、全体を民間事業者の方に委託して、チケット収入、広告関係も含めて収支に責任を持ち運営していただきたいということが有識者会議からの提言である。それを踏まえて、どういった事業者、民間が担えるのか、しっかりとノウハウ等を持った民間事業者の方から手を上げていただくということで、提言がされているところである。

民間委託導入方法については、提言書には事業期間を3年から5年ぐらいのコンペ公式とある。民間に手を上げていただいて、より良い阿波おどりをどうするかといった企画書を出していただき、選考委員会等を設置して決めるということで考えている。収益が出れば、それを基金に積み立てる仕組みを構築することで、民間は利益を上げるだ

けでなく、計画的な栈敷改修や市民への還元を図ることが期待できるといったことを考えているところである。

#### 【D委員】

基本的には民間委託は賛成である。どういう形で民間委託したとしても、そこを監査する機関をどのようにするのが大事である。今年運営してきた事務局として、どのような関わり方をするか明確にしていかなければ、民間委託は難しいのではないかと。明確にできれば、民間委託することにより持続、発展的に進んでいくのではないかと。また、運営協議会として関わっている人たちの意見をどのように吸い上げ、形にしておくのが重要になってくると思う。

#### 【事務局】

民間委託との関わりについて、実行委員会としてはコンペを行い、民間事業者を決めていく、さらにその民間事業者に任せきりではなくて、チェックや評価する機関を設置し、事業がしっかり行われたかの検証を行う。そして、実際に事業を進めるには、実行委員会、運営協議会で協議の場を儲けて、円滑に事業ができるようにしていきたい。決して民間事業者に丸投げというのではなく、地域のお祭りであるという観点が必ず必要であり、みんなで考えて、支えていくというスキームを有識者会議から提言をいただいている。

#### 【委員長】

透明性を確保することが全てにおいて大前提であると思うが、何か意見はないか。

#### 【F委員】

民間委託を実施することはいいので、後は時期の問題をつめればいいと思う。

#### 【E委員】

民間委託に関して、将来的には賛成であるが、現時点では時期尚早でないか。

昨年の阿波おどりは時間的な問題があり、思うような経費削減ができなかったため、最終的に赤字という結果になっている。行政から民間委託という形を取る場合は、もう少し整理した状態で委託をするのが普通だと思う。しかし、民間委託のアイデアやノウハウは、阿波踊りの活性化のためには今後は必要だという認識は持っており、長い目で見れば賛成とは思っている。

そもそも実行委員会は、観光協会等の件もあり、市長が公平、公正、透明にということで、赤字体質を脱却して、きちんと運営していけば黒字が出るということで始まったと理解をしている。他の委員も一緒だと思うが、徳島市が責任を持ってやっていくということで、各組織、団体にも応援していただきたいというような依頼があり、引き受けをさせていただいたところである。徳島商工会議所では機関決定をし、各関係団体にも了承を得て、今この場に委員として座っているわけだが、民間委託の方向で進むのであれば、本来の実行委員会の主旨からは違ってきているのではないかと。最初の段階から実行委員会の在り方というのは変わってきている。各会議所の議員、会員に徳島市が責

任を持ってやるということで、できるだけフォローアップしていきたいということで参画しており、そういう事を考えると、実行委員会で今後コンペを実施し、最終決定をしていこうとする実行委員会に少し違和感がある。

有識者会議の提案の中に市長が実行委員長をするのはどうかという提言も出ているが、実行委員会の会則では「実行委員会は徳島市長が組織をする」、「委員長は市長がする」となっている。また、将来的に事務局はどうするのかは、民間委託の検討の課題になると思う。事務局は徳島市の経済部に置くとなっており、実行委員会の事務局規定を見ると、「事務局長は委員長の命を受けて事務を統括する」となっており、事務局長は徳島市経済部長、事務局次長は徳島市経済部観光課長になっている。民間が委員長になったとして徳島市の経済部長に指示を出すということがいいのかという構造的な事も考えなければならない。

委員長自身が委員長を続けるのか、変えられるつもりなのかは承知をしてないが、そのような状況の中で今の実行委員会で有識者会議の提案を受け入れ、議論を進めていくのには民間委託の件を含めて不都合な面が出てくるのではないか。また、民間事業者を選定するとなると、それなりの知識を持った方を実行委員会に委員として入っていただくなどが必要になると思う。この有識者会議の提案で色々な考え方が発見できており、市長が委員長を退くのであれば、未来の阿波おどりを総合的に考えた時に一度解散をするか、再編成をするか、組織の組み換えが必要ではないのかと思う。

#### 【委員長】

民間委託による阿波おどりの実施、行政との関わりという点を2つまとめてお話いただいたが、分けて決めていきたいと思う。まずは、民間委託について、やはり収支に責任を持つという点では委託した方がいいのではないかという意見もあったが、他に意見がなければ、採決に進みたいと思う。

#### 【B委員】

方向性としては、賛成ということであるが、すぐに民間委託ではなく、色々な用件を整理するという条件の基に民間委託は賛成したいと思っている。今年の阿波おどりに間に合うのかどうかは、これから進んでいかないとわからないが、時期まで決めてしまうのには疑問が残る。民間委託に関しては、色々な条件を全て出して、クリア出来れば委託するというのではどうか。

#### 【事務局】

昨年1年間通して阿波おどりを運営させていただき、阿波おどりには何が必要なのか、どんな準備が必要なのかということ全てを実施して、コンペを行う時にどういったことが必要かは、仕様書の中に書き込んでいるところである。コンペの準備という観点からは可能だと考えている。

#### 【委員長】

事務局から説明があったように、コンペの準備は可能であるが、コンペに参加する事

業者がいるかは当然決まっていない。来年度の阿波おどり民間委託に向けて色々な条件を示しながら進めていくことをこの場で決める必要があるのではないかと思う。誰が受けてくれるかわからない状況で民間委託を決めるわけであり、目標ということになる。それらを承知した上で民間委託に向けて進めていいかの採決を取りたいと思うが、よろしいか。

**【D委員】**

元々は、実行委員会が責任を持ってやっていくことで、民間委託を決定するのは現在の実行委員会ではないと思う。民間委託の方向性進めていく中で、組織を再編して決めていくべきではないか。実行委員会の再編をどうするかが、現在の実行委員会が最後に考えるべきものではないか。反対をしているわけではないが、民間委託を進めることの採決するのは違うと思う。

**【委員長】**

私たちは去年の阿波おどりについて、これから決算を含めて、責任を持ってやっていく立場である。来年度の阿波おどりについても、現在の実行委員会で方向性を決めて、次の方たちに引き継いでいただけるようにしなければ話が進まない。

**【C委員】**

民間委託を行う主体はどこになるのか、現在の実行委員会なのか。あるいは解散して新たな組織になるのか。

**【委員長】**

実行委員会として民間委託を行うことになる。

**【事務局】**

主催者はあくまでも実行委員会になる。そういった中で、組織の解散、再編なのかというところはあるが、阿波おどり事業の実施主体は実行委員会になり、次年度の阿波おどり事業の開催概要も今の体制で決めていただいている。事業の継続性を考えれば、組織はそのままにさせていただき、規約の改正などで委員会を再編するという形で進めさせていただくのが、継続性等の事も考えると合理的だと考えている。

先ほど、今年の赤字の処理についても、採決し、これを議会に提案して認めていただく必要がある。議会の同意の部分もあるので、事務局としても決めていただければと思う。

**【委員長】**

他に意見がなければ、採決をしたいと思う。

**【E委員】**

採決は必要なのか。

**【委員長】**

採決事項だと思うが、採決は必要ないのか。

**【E委員】**

私は、阿波おどりを実行する立場ということで組織や会員の理解を得てこの場に来ている。市の担当者が説明に来て、そういう理解でこの任を受けている。個人的には賛成であるが、その立場上で民間委託に採決の賛成、反対は正直なところしにくい。

【委員長】

E委員は個人的には賛成であるが、立場上、保留ということか。

【E委員】

そもそも、民間委託をするために、委員としてこの場に来ていない。新しい阿波おどりを作っていくという主旨の基で実行委員会に参加している。

【委員長】

しかし、採決しなければ話が進まない。

【D委員】

有識者会議から民間委託という提言が出たが、それを行うのは現在の実行委員会ではないと思う。民間委託を行うことが今後の阿波おどりにとって発展に繋がっていくのであれば、そのことを決めていく新たな組織を作っていかなければならないので、その組織をどういう形にするかを決めるのが、現在の実行委員会の仕事だと思う。

【E委員】

私が知っている範囲内で、D委員も実行委員を受けるにあたって、組織内では反対する方もいたと聞いているが、私の組織内も同じ状況である。それぞれの組織内の問題でもあるかもしれないが、そういう組織の代表という立場で、放り出すように捉えられるのが心苦しいところがある。そのため、どうしても採決をするのであれば、棄権をさせていただきます。

【A委員】

今この組織で採決をしなければ、どこで決定するのか。それぞれの代表の立場でこの場に来ている。元々、経済団体は阿波おどり運営に関しては入っていなかった。私たちこそ、この辺でお役御免にしていきたい。だから、はっきり言って決めていきたい。

【委員長】

各委員の意見を聞いて、民間委託に待てといった方は誰もいない訳だが、実行委員会として民間委託を目標に進めていくということでしょうか。

【A委員】

結構である。

【E委員】

目標に進めていくのであれば、問題ない。

【委員長】

目標と申し上げたのは、委託業者が誰もいないかもしれないという懸念を含めての意味であり、それに向かって努力をしていくという意味である。

反対の方はいないか。

(意見無し)

それでは実行委員会として、来年度からでも民間委託が出来るように進めていくということで決定とする。

次に行政との関わりという部分について、提言書では徳島市が中心とならない運営体制を検討するようであるが、意見はあるか。

【B委員】

有識者会議の前提は、市が主体的に関わらないことである。主体的に関わり、場合によっては税金も使う、そういった議論が有識者会議ではなされないままに、市に関わらないとなっている気がするので、根本的なところは今後も議論すべきだと思う。そういった前提に立った提言をそのまま議論していただくだけでいいのかという懸念がある。市が阿波おどりに一切関わらないということは出来ない。徳島マラソンやはなはるフェスタなども、それなりに市は関わっている。関わり具合は別としても、関わらないことは基本的に通らないと思う。

【委員長】

機軸は徳島市の所有ということであり、徳島市が関わらないということはない。先程、委員長は代わるが市としては実行委員会に残った方がいいのではないかと意見をいただいたが、市の関わり方、委員長の問題について、何か意見はないか。

【E委員】

委員長の見解を教えてください。

【委員長】

私が意見を言うと、他の委員に押し売りをしている感じになるので、先に他の委員の意見を聞きたいと思う。

【E副委員長】

他の委員が意見を言えば、そのとおりになるのか。

【委員長】

当然私自身の意見もある。有識者会議からいただいた指摘はかなりの的を射ている。市長が阿波おどりを運営することにより、マイナスがあるのであれば、市長は委員長を退いた方がいいのではないかとというのが意見である。

【D委員】

市長が実行委員長を務めない方がいいと思う。徳島市が今年の阿波おどりを運営したので、当然徳島市にも入って貰わないと引き継ぐ部分もあるので、阿波おどりが出来ないと思う。各種県外の大会を見てもその地域の役所が入ってというのは当然のことだと思う。色々協力をしていただかないと、出来ないという部分も多いので、何かしらの立場で入ってもらうべきではある。

【A委員】

市長が委員長になっているのは緊急避難であったと思っている。去年の異常な事態の中で議論している時間もなかったので、潔く引き受けていただいたと受け止めているので、もう委員長は代わってもいいのではないか。

【委員長】

市長が実行委員長にはならない方がいい、徳島市として実行委員会には入るべきだ  
という意見が出ているが、そういったことでよいか。

(異議なし)

それでは、そのように決定させていただく。E委員から実行委員会の再編という意見  
が出たが、実行委員長の変更に合わせて、現在の実行委員会の構成の変更について意見  
はあるか。

【A委員】

再編をしていただきたい。出来れば、法律に詳しい弁護士なども入るほうがよいので  
はないか。

【委員長】

他の委員も意見があると思うので、次回、2月5日開催の実行委員会で事務局にお伝  
えいただければと思う。次の委員構成については、事務局で案を出して議論していき  
たいと思う。

【E委員】

次の委員のことは議論できないので、徳島市が発表するというのはどうか。

【委員長】

議論のたたき台になる案は必要だと思う。

【E委員】

2月5日に徳島市からの発表でいいのではないか。

【C委員】

委員長そのものを考えなければいけないのではないか。

【B委員】

新しい組織も継続性があるというのであれば、ある程度承認するというけじめは必  
要だと思う。そうでなければ、いつのまにか体制も変わっていたのでは大変なことにな  
る。新しい体制を市から発表していただいて、これに対して承認するということであ  
れば、そのまま引き続いて次にいけるのではないか。

【委員長】

発表だけでなく、委員の承認が必要である。

【E委員】

再編前の委員が承認を行うのか。

【B委員】

再編することを実行委員会で決めるだけである。



【E 委員】

実行委員会の主体は徳島市ではないのか。

【A 委員】

今はそうだが、今後は違う。

【E 委員】

事務局も徳島市に置いており、現在の委員が次の委員を決めるのはどうかと思う。

【委員長】

私たちが決めなければ、誰も決められない。

【E 委員】

徳島市が決めるのではないのか。

【委員長】

決めるのは私たち実行委員会全員である。

【B 委員】

先ほどE委員からも意見あったが、事務局の体制も含め示さなければ、委員長の退任と同時に指示命令系統も切れるので、市が関係ないとうことはできないので、その辺りを示していただいた上で、議論していければと思う。

【A 委員】

体制ができれば、事務局は行政に協力要請することになる。

【事務局】

事務局の体制も含めて2月5日に示させていただきます。

【委員長】

2月5日までに意見があれば、事務局にお伝えいただきたい。それでは、新たな体制については、次回の2月5日の実行委員会で決定させていただく。本日議論できなかったが、阿波おどり事業に関する有識者会議からの提言内容については、新しい体制で協議していく必要があると思う。

それでは、以上を持って第11回阿波おどり実行委員会を終了とする。

